

こんにちは

# 会社訪問記

クリーン焼却システムで  
高感度快適社会へ。

## 株式会社DAITO

(愛知県瀬戸市)

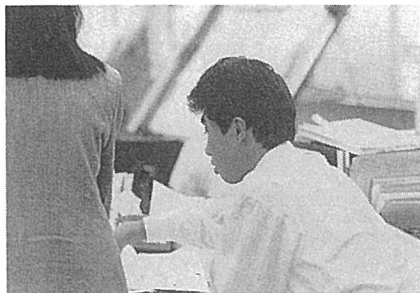
今年4月、大東三進㈱から焼却炉・環境機器製造販売メーカーとして独立した㈱DAITOに訪問し、事業内容等を谷口取締役エンジニアリング事業部長、野末企画推進本部部長代理にお話を伺いました。

——事業内容を教えていただけませんか。

谷口取締役(以下谷口に略)『廃棄物焼却システムの製造・販売、熱機器類の製造・販売、プラントエンジニアリング、コンピュータ周辺機器の研究開発、ソフトウェアの研究開発、ファインセラミックスの開発・販売を手掛けています。焼却炉を実際に製造・販売しはじめたのは、昭和37年です。小型焼却炉に関してはパイオニアですね。』

——廃棄物処理に対する基本姿勢を伺いたいのですが。

谷口『当社独自の燃焼技術と焼却技術をベースに、“人と自然”が互いに共存・繁栄できる心地よい社会づくりを通して、環境保全に取り組むことですね。私の所属するエンジニアリング事業部は、時代にマッチし、ユーザーニーズに合った適切な焼却炉をお届けする部門です。産業廃棄物の焼却施設も担当しています。』



エンジニアリング事業部

——取扱う焼却炉の種類はどれくらいありますか。野末部長代理(以下野末に略)『産業廃棄物関連にとどまらず、学校向け、一般工場向けの小型焼却炉から大型焼却炉まで種類は豊富です。簡単にご説明しますと、一般家庭・学校・事務所・工場等から排出される廃棄物焼却用の雑芥炉、給湯・暖

房等の温水利用に利用できる高分子炉からレストラン・ホテル・食品工場等で排出する廃棄物焼却用の厨芥動物炉、医療廃棄物専用炉、そして建設廃棄物専用の焼却炉や可燃性粗大ゴミ焼却設備などの特殊炉に大きく5つに分けられています。』

——次に技術開発面について、少しお話していただけませんか。

谷口『技術センターに開発部があり、そこで日夜研究・開発を行っています。』

野末『この技術センターでは、大学の研究陣とチームを組み、共同で研究を行っています。先般、計器自動制御学会において、燃焼機器に対する研究・開発に取り組んだ論文が特別表彰を受けました。しかし、私たちはこの事実を燃焼機器の開発に対する1つの通過点としてとらえています。』

——社のモットーを教えてください。

谷口『モットーと少し違いますが、“高感度快適社会へ”をキャッチフレーズにしています。エコロジー産業の担い手であり、快適環境をつくり出すクリエイターとしての方向性を表しています。』

——最後に、今後の展望をお聞かせください。

谷口『多目的な焼却炉を開発し、焼却時に発生する熱エネルギーを100%有効利用できるよう取り組むことですね。また、海外への事業展開も精力的に行い、総合環境機器メーカーとして、実績を築いていきたいと思っています。』



谷口取締役



社名 株式会社DAITO 所在地 愛知県瀬戸市泉町75番地  
代表者 井上浩男 設立/平成4年 従業員/300人  
TEL/0561(21)9111(代) キャッチフレーズ/「高感度快適社会へ」  
事業所/本社、2営業本部、5支店、11営業所、2工場、1事業部、技術センター  
事業内容/ 廃棄物焼却システムの製造・販売、熱機器類の製造・販売、プラントエンジニアリング、コンピュータ周辺機器の研究開発、ソフトウェアの研究開発、ファインセラミックスの開発・販売